

相互乗り入れ事業の事業費・事業手法の見込みについて

平成23年 6月14日

事業者名	内 訳	金 額	備 考
福井鉄道	田原町駅 (工事内容) 線路工事、踏切工事、電気工事(信号機・ATS整備等)、ホーム・上屋工事(3面3線)	8~9億円	・対面式により乗り換えがスムーズになるようホーム整備 ・福井市調査結果に合わせ、線路南側に人が集える広場を広く取れるよう、線路を配置
	浅水駅 (工事内容) 折り返し線と分岐器1箇所を整備	1億円	・運行案の見直しにより追加
えちぜん鉄道	福大前西福井、日華化学、八ツ島駅、新田塚駅、中角、鷺塚針原(福井市) (工事内容) 分岐器改修1箇所(新田塚駅)、低床ホーム・融雪装置整備	3億円	
	太郎丸、西春江、西長田(坂井市) (工事内容) 低床ホーム・融雪装置整備	2億円	
	低床車両の導入(3編成) (検討中の仕様) 定員150~170人、長さ30m級、幅2,650mm	9億円	・ラッシュ時にも対応できる車両
	合 計	23~24億円	・別途、優先信号など公共交通優先システム(PTPS)や電停改良等の整備費が必要

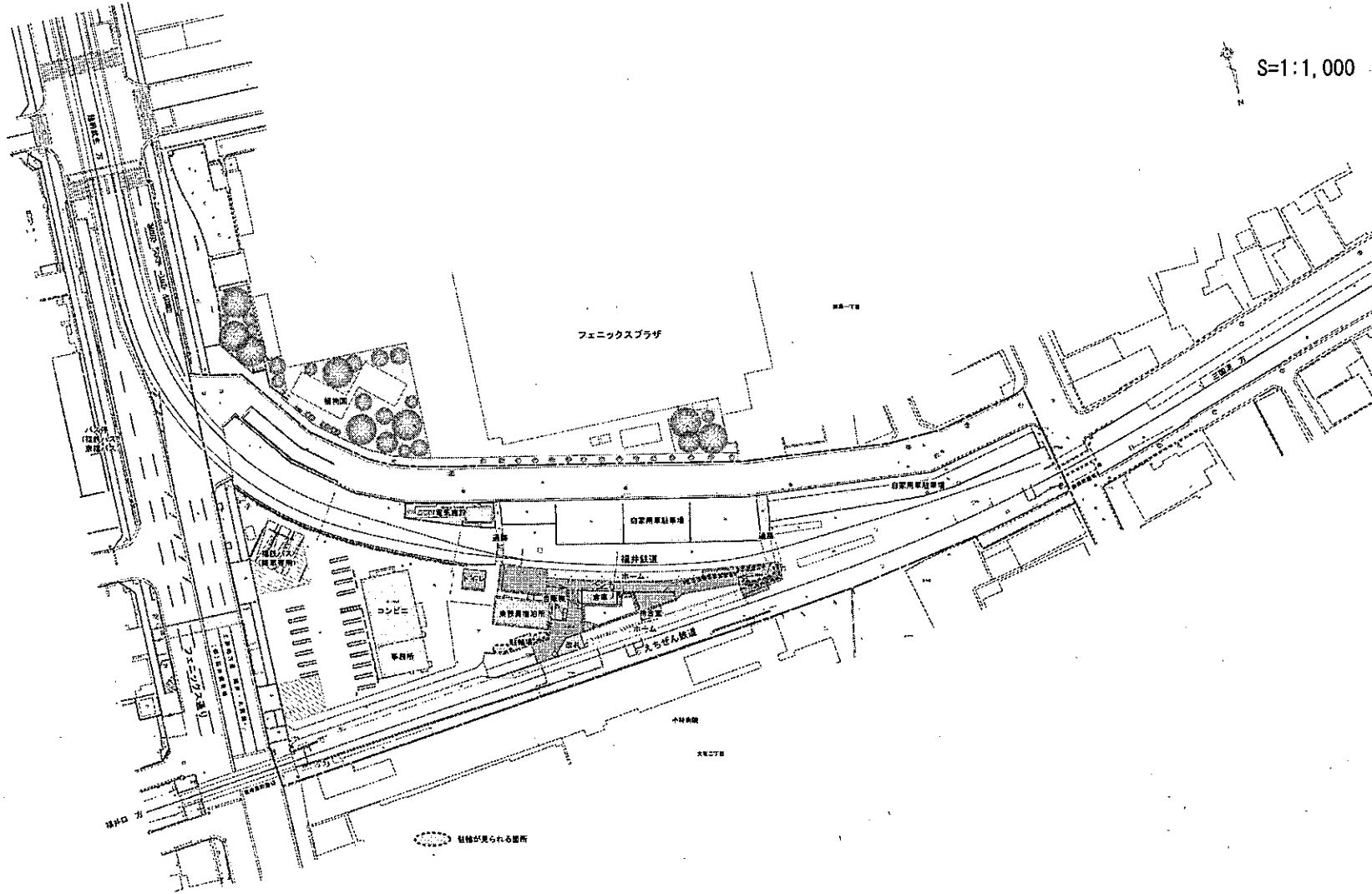
※ 事業手法の見込み

原則として「地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通バリア解消促進等事業)」を活用することを想定(国庫補助率:1/3)

ただし、福大前西福井駅~新田塚駅間の駅整備については、社会資本整備総合交付金を活用する予定(国庫補助率:1/3)

田原町駅現況図

S=1:1,000



相互乗り入れ事業の収支採算性の見込みについて

○ 相互乗り入れ事業の利用者目標（運輸収入の見込み）

・ 現在ほとんど利用のない両鉄道をまたぐ通勤需要を中心に、年間10万人以上（280人/日）の利用者増を目標とする。

※ 第2回事業検討会議資料2のとおり、両鉄道をまたぐ通勤者のうち鉄道を利用する割合は約2%（H17福井都市圏パーソントリップ調査）である。相互乗り入れを行うことにより、この割合を中心市街地における鉄道利用の割合（9%）に高めることを当面の目標として設定。

⇒ $4,000 \text{人} \times (9\% - 2\%) = 280 \text{人/日}$ （10.2万人/年）

※ 目標を達成した場合の運賃増収は、年間10.2万人×往復×@200円（想定単価）＝約4,100万円

※ この他、現在、片方の鉄道を利用し田原町駅で下車後、学校まで徒歩で通学する学生が年間4.5万人おり、相互乗り入れをすることで最寄り駅までいけることから便利になる。

※ また、相互乗り入れにより、昼間時間帯の通院や買い物、臨時（季節）電車の運行による利用者増もあるので、利用の実態を把握しながら目標を定める。

・ 目標を達成するため、事業者は、相互乗り入れ事業に合わせたダイヤ調整（田原町駅での待合時間を5分以内にする）や運賃体系を改定した通しの割引運賃制度を導入する。併せて沿線市町・県も利用促進策を行う。

※ 今後、両事業者において、ダイヤ調整や通し割引運賃制度の先行実施を検討

○ 年間運行経費（見込み）

	福井鉄道	えちぜん鉄道	合計
年間運行経費（/年）	1,650万円	2,450万円	4,100万円

これまでの検討状況と今後の予定について

検討事項	検討状況	今後の予定
① 事業費および収支採算性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県は、田原町駅等の概略設計調査を、同じく福井市は田原町駅の駅舎や交通広場の調査を実施済み ・ 両事業者は、割引運賃（案）を作成し、収支採算性を試算 	—
② LRV の仕様、 共通発券システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ えちぜん鉄道が LRV を 3 編成導入するにあたり、福井鉄道の再構築実施計画に基づく LRV 導入に合わせ、共同調達によるコスト縮減を図るため、仕様等について、両事業者、県、関係市で協議 <p>※ 検討中の仕様： 定員 150～170 人、長さ 30m 級、幅 2,650mm</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両事業者が共通仕様の車両タイプを特定できるよう、関係者協議を継続 ・ 発券システム共通化は、両事業者を中心に検討
③ 電停の拡幅および PTPS の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電停の拡幅および PTPS の設置等について、福井鉄道・道路管理者、警察、福井市、県で協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相互乗り入れ事業に基本合意後、事業に取りかけられるよう、関係者協議を継続
④ 事業手法・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 23 年度から、国の地域鉄道に対する補助制度が改正。活用しうる国庫補助制度について国と調整中 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通活性化・再生総合事業 ⇒ 廃止 (LRV 補助率：1/2) 地域公共交通の円滑化促進事業 ⇒ 新設 (LRV 補助率：1/3) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方負担分について、県および福井市など沿線市町間で調整